

千葉県オリンピック・パラリンピックを活用した教育の取組方針

目指す児童・生徒の姿

・国内外の大会関係者や観客等を、どこで会っても明るい挨拶と最高の笑顔でお迎えている 等

・障害、年齢、国籍等を問わず、公共の場等で困っている人を手助けしている 等

・スポーツの魅力に触れ、障害の有無や年齢に関わらず、誰もが一緒にスポーツを楽しんでいる 等

・日本の良さ(伝統文化等)を十分理解し、観光地等で世界の人々と臆せず積極的にコミュニケーションがとれている 等

○ボランティアに積極的に参加する意欲をもち、温かいおもてなしができる児童生徒の育成

○共生社会の形成者にふさわしい、障害のある人や高齢者等を含めた他者を理解する児童生徒の育成

○生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う児童生徒の育成

○自国の歴史伝統文化について理解を深め、他国の歴史や文化、言語について学び、世界を舞台に活躍する児童生徒の育成

二〇二〇年の姿

おもてなしプロジェクト

◎ボランティア精神と温かいおもてなしの気持ちを育てる活動

- ボランティアに参加しようという意欲を向上させる。
- 2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会に主体的に参画しようとする意識を持たせる。

主な教科等: 道徳・総合・国語・特活・部活動など

- 各種イベントやスポーツ大会の運営ボランティアに参加したり、学校支援ボランティアにおいて大人と一緒に活動したりする体験を通して、ボランティア活動の意義や多様なボランティア活動を理解させる学習
- 美化活動(校内、校外、地域、海岸など)やゴミ拾い運動の実施。運動の意義等についての学習
- 花いっぱい運動(校内、校外、地域の道路、農業関係高校で栽培した草花での競技場周辺の装飾)の実施。草花を育てる意義を通して、おもてなしの意味を理解させる学習
- 外国の人をもてなす際のマナーやルールを学ぶ学習等

- ◇商工労働部(ちばプロモーション協議会)
- ◇環境生活部(県民・生活文化課(都市ボランティア))
- ◇健康福祉部(障がい者スポーツ協会) 等

心のバリアフリープロジェクト

◎共生社会の形成を目指し、他者を理解しようとする気持ちを育てる活動

- 障害者や高齢者等、他者の理解を深める。
- バリアフリーやユニバーサルデザイン等を通して、生活様式の多様な在り方を考えられるようにする。
- パラリンピックサポートセンター等との連携等から、障害者スポーツなどを通じて、相互に支え合い、認め合える心を育てる。

主な教科等: 道徳・総合・社会・家庭・特活など

- バリアフリーやユニバーサルデザインについて調べ活動を行い、他者理解や共生社会形成を目指す学習
- 障害者スポーツを通じて、パラリンピック競技について知る活動をきっかけとし、障害者への理解を深める学習
- 車いす体験などの福祉に関係する活動を通じた、他者理解のきっかけとする学習
- 道徳等の時間を活用した、オリンピック・パラリンピックアスリートの生き方などの学習
- 障害等の有無に関わらずスポーツに取り組み、誰もが一緒にスポーツをする学習 等

- ◇健康福祉部(社会福祉協議会、障がい者スポーツ協会)
- ◇パラリンピックサポートセンター 等

スポーツプロジェクト

◎生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てる活動

- 生涯を通じてスポーツに親しむ意欲を育てる。
- オリンピック・パラリンピックへの理解を深める。
 - ・オリンピック・パラリンピックそのものについての学び
 - ・オリンピック・パラリンピック競技の学び
- スポーツを通しての人間教育(フェアプレー、公正公平、努力の大切さ等)を進める。

主な教科等: 体育・社会(地歴)など

- 体育や社会(地歴)の時間を通して、オリンピック・パラリンピックの理解を深める学習
- 体育の時間を活用し、オリンピック・パラリンピック競技種目を実施する学習(1市町村1競技の取組等)
- オリパラ時事問題やオリンピック記録を授業の題材に取り入れる等、オリンピック・パラリンピックへの関心を高める学習
- キャリア教育の取組として、スポーツに関係する仕事を理解する学習
- JOC、JPCと連携したオリパラ教育の実施
- JADAと連携したアンチ・ドーピング教育の実施 等

- ◇JOC(日本オリンピック委員会)
- ◇JPC(日本パラリンピック委員会)
- ◇JADA(日本アンチ・ドーピング機構)
- ◇パラリンピックサポートセンター 等

グローバルプロジェクト

◎自国と他国の関係に目を向けて、自国の歴史や伝統文化について理解を深め、他国の歴史や文化、言語について学ぼうとする気持ちを育てる活動

- 自国の歴史や伝統文化の理解を深める。
- 異文化への理解の促進を図る。
- コミュニケーション力の向上を図る。
- 語学力の向上を図る。

主な教科等: 国語・社会・英語・音楽・図工(芸術)・特活・道徳・総合など

- 「一校一国」で外国について調べる学習。発展としてその国との交流をする学習
- 自国の歴史や伝統文化についての学習
- 博物館等の文化施設を活用した文化遺産等に対する理解の促進を図る学習
- 語学力の向上(観光で訪れた外国人に道案内をしたり、日本の伝統文化を紹介したりすることを想定する学習)
- コミュニケーション力の向上(事前キャンプを活用して積極的に外国人の人と交流をする)を図る学習
- 観光客への通訳ボランティア(道案内や名物の紹介等)を想定した学習
- 国旗・国歌の意義や大切さの理解を深める学習
- 茶道や華道等から礼儀作法の学習 等

- ◇大学等(留学生との交流等) ◇博物館
- ◇国際交流協会 等

○具体的取組例

◇諸機関との連携

県内公立学校

志を持ち、失敗を恐れずチャレンジする人材を育成し、児童・生徒に無形の遺産(レガシー)として受け継いでいく